

かがやき

第18号

2009年 10月発行

◆療育の理念◆ 人間愛

基本方針

- 一、私たちは、障害を持った方の人権と意思を尊重し、誠意を持って、命の輝きを大切に療育に励みます
- 一、私たちは、ご家族や関係機関と力を合わせて、ニーズに即した地域療育充実に努めます
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝の心で療育に取り組み、日々研鑽して療育の質の向上を目指します



社会福祉法人 二之沢愛育会 群馬整肢療護園

〒370-3531 群馬県高崎市足門町 146-1 電話 027(373)2277 FAX.027(373)2278
E-mail sw@gunmaseishi.com HP アドレス http://www.gunmaseishi.com

外来からの要望に対して・・・外来のリハビリの効果的な実施について

群馬整肢療護園 園長 清水 信三

4月に利用者から「訓練の回数が2回/月が1回/月に減少したが・・・。」とのことで要望のお手紙を頂きました。ここで本当に効果的なリハビリをするためにはどのようにしたらよいのか考えてみたいと思います。

1) 医療の内容が客観的な評価 (EBM エビデンス) に基づいているか? :

現在はずべての医療は実施した医療行為が本当に効果があったのかどうか? を日々評価して検証のなかで進めなさいとされています。このことを EBM (Evidence Based Medicine) といふ客観的な評価に基づいた医学のことで、薬の投与、手術、など全ての医学分野にわたっております。「リハビリ」「訓練」も定期的な医師の診察と EBM によった評価により今後の治療方針などが「リハビリ実施計画書」として示され、その中で「現在の状況の評価」「短期目標」「長期目標」などが EBM の考えで示されてきます。このように定期的な観察(診察)と評価がなければ進歩もありません。



群馬整肢療護園産「すいか」

2) 小児のリハビリとは? 家族が主役:「親こそ最良の医師」

さて訓練はどの位の頻度ですれば良いのか? さまざまわれています。間違いないことは毎日朝と夕方繰り返して家庭で実施することです。一日休めば一日逆戻りするともいわれております。これは成人のリハと変わることはありません。園での訓練指導は家庭での毎日の訓練のリード役でしかありません。当園で受けている1-2回/月の指導がリハビリではないのです。「親こそ最良の医師」と言ったのはドーマン法のドーマンです。「療育」の主役は家庭・家族です。ご家族の積極的な関与をお願いいたします。そのことが修学・就労といった長期的な取り組みにも絶対必要とされるからです。

「21世紀職業財団子育て支援」～職場風土改革促進事業の取組みについて～

群馬整肢療護園 園長 清水 信三

当園は、平成20年6月より財団法人21世紀職業財団群馬事務所長の指定を受け、職員の「仕事」と「家庭」の両立を支援するため『職場風土改革促進事業』に取り組んでいます。本年度はその2年目として「事業所内保育施設」の設置など、職員がより「仕事」と「家庭」の両立をし、能力を十分に発揮できる「職場環境」と「職場風土」づくりを推し進めてまいります。

本事業については職員の皆様のご協力をお願いいたします。

新人職員紹介 ～宜しくお願いします～

調理師：松戸 淳一

(趣味：温泉巡り)

『早くも4ヶ月が過ぎて大分職場にも慣れました。御迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、これからも宜しくお願いします。』

看護師：土屋 園子

(趣味：車の運転と読書)

『まだ馴れず、教えていただく事ばかりですが、宜しくお願いします。』

保育士：秋山 真知子

(趣味：スポーツ鑑賞)

『入職してから約半年が経ち仕事にも慣れ、利用者の皆様と楽しい日々を過ごさせていただいています。これからも元気にがんばりますので宜しくお願い致します。』

看護師：角谷 幸子

(趣味：バスケット)

『入職して3ヶ月が経ち、除々に職場の雰囲気にも慣れてきました。今後も利用者さんと信頼関係を深められるよう頑張っていきたいです。』

看護師：内田 淳子

(趣味：読書)

『早く仕事に慣れるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。』

訪問看護師：森田 和美

(趣味：映画鑑賞・絵を描くこと)

『医療的ケアの現場において、スタッフの方々と協力して、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。』

事務員：亀井 朱里

(趣味：読書・美術鑑賞)

『小児外来での受付は初めてで戸惑うことばかりですが、かわいい笑顔がたくさん見る事ができ、とても嬉しいです。初心を忘れず頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。』

『高崎市障害者サポートセンターる～ぷ』 開所しました！

相談支援専門員 金井 正敏

平成21年4月より高崎市末広町にある高崎市総合福祉センターの1階に『高崎市障害者サポートセンターる～ぷ』が開所しました。愛称でもある『る～ぷ』は“わ”という意味を持ち、輪を描くように様々な方々と繋がりを持っていけるよう命名しました。

主な業務内容は生活上の心配事や制度のご案内などの生活相談、一般企業等への一般就職を目指す就労支援、軽スポーツなどを通じて社会参加のきっかけを作る社会参加支援、市内の障害福祉に関する情報などを発信する情報発信などなど様々な形で障害を持った方やご家族の方々をサポートしております。また、サポートセンターは当園以外に藤田テクノ株式会社、社会福祉法人榛桐会に所属のスタッフ総勢10名で協力し合いながら業務を行っています。開所してまだ間もないですが、ニーズに応じたサポートを実施して行きたいと考えています。センターにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。当園運営の『ほっぷ』の隣にあります。



相談中の様子



る～ぷスタッフ職員一同

幹部職員にインタビューしました

リハビリテーション課の課長、角田 淳 言語聴覚士にインタビュー形式でリハビリテーション課についている質問しました。

Q1 リハビリ課スタッフは全部で何名ですか。男女比も教えてください。

理学療法士(PT)は男子3名女子6名、作業療法士(OT)は男子2名女子6名、言語聴覚士(ST)は男子2名女子6名(1名育児休業中)です。

Q2 訓練課の専門性についていくつか教えてください。訓練士の方々はそれぞれどのようなリハビリテーションをされるのですか。

理学療法士は全身の筋緊張とそのバランスを保ち、姿勢や移動運動を維持・向上するとともに車椅子や補装具等も利用し社会参加を促していきます。

作業療法士は様々な作業や日常生活活動を通し、感覚・手の機能やそれを支える身体機能の維持向上を図ります。また、社会参加に必要な様々なルールの獲得をめざします。

言語聴覚士は話しことばの利用・聴覚の活用・話しことば以外のコミュニケーション手段の獲得・食べる機能の維持・向上をめざします。

それぞれに、今一番取り組んでいることは何ですか。

PT：個々に合わせた姿勢保持具の作成、移動等の生活動作を日課の中でも実施しています。

OT：余暇時間の充実と姿勢や感覚を軸にリラックスできるような生活空間作りに力を入れています。

ST：病棟・栄養課との協同でお茶・粥ゼリー等の導入や口の衛生に注意しています。コミュニケーションの機会作りや手段の工夫も行っています。

Q3 角田さんについていくつか教えてください。

角田さんが言語聴覚士を目指したきっかけは何か。

学生の頃は、心の問題を抱える人と関わるカウンセラーを目指し勉強していました。その頃自閉症のお子さん達と関わり「個々に合わせた教材研究・教材作成をすることがお子さんの理解や心の通い合いにつながる」と知りました。私自身の世界も広がったので、この仕事を選びました。

今後の方針や目標について教えてください。

入園・在宅で当園を利用される方々の動向やニーズを把握し、生活を保障する支援のため各職種が専門性を発揮することが大切だと思っています。各利用者さんの目標設定、わかりやすい説明の工夫、職員が療育研究大会等に参加し他施設の方々との情報交換も奨励していきたいと思っています。



リハビリテーション課 課長
角田 淳 言語聴覚士

❖園の行事予定❖

(平成21年度 10月～3月)

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 10月1日(木) | マンボウ親子療育部行事 G4
(若草棟) |
| 10月3日(土) | ゆったりグループ
(そよ風棟療育部行事) |
| 10月7日(水) | マンボウ親子療育部行事 G5
(そよ風棟) |
| 10月8日(木) | マンボウ親子療育部行事 G1
(若草棟) |
| 10月15日(木) | 幼児遠足 |
| 10月24日(土) | あゆみ祭 |
| 10月29日(木) | マンボウ親子療育部行事 G2
(若草棟) |
| 12月25日(金) | クリスマス会・療育部表彰 |
| 1月(予定) | マンボウ病棟行事 G1
成人式 |
| 2月(予定) | マンボウ病棟行事 G2
マンボウ病棟行事 G3 |
| 3月(予定) | マンボウ病棟行事 G4
お別れ会
(若草棟) |
| 3月26日(金) | 退園式・療育部表彰 |